

草上下総運発第2号  
令和3年6月29日

草津市長 橋川 渉 様

草津市上下水道事業運営委員会  
委員長 山田 淳

第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕について(答申)

令和2年8月21日付け草上下総運発第1651号で諮問のあった事項について、当委員会は、慎重な審議を重ねてまいりました。

平成23年3月に、将来にわたり安全な水道水を安定的に供給していくために、将来に向けた長期的な経営戦略として「草津市水道ビジョン」を策定され、また、フォローアップとして計画期間(平成23年度～令和3年度)の中間で目標や施策など計画の中間見直しを行われています。

計画策定から10年が経過する中で、人口減少社会の到来や東日本大震災の経験など水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため「新水道ビジョン」が厚生労働省で策定されるとともに、水道の直面する課題に対応し、水道の基盤強化を図るため、水道法が改正されるなど、水道事業を取り巻く環境は刻々と変化をしております。第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕の策定にあたっては、これらの状況を踏まえるとともに将来を見据えて、目標達成状況の確認、将来見通しの検討を行ってまいりました。

草津市は令和12年までは人口増加が見込めるまちですが、その後は人口減少を迎えることと合わせ、節水型機器の普及や節水意識の向上により、給水量も緩やかに減少し、水道事業経営の根幹を成す水道料金収入の増加も見込めないなど、水道事業を取り巻く環境が極めて厳しい状況にあることを確認しております。また、新水道ビジョンで示された安全・強靱・持続の水道の基本理念の実現に向け、次期ビジョンでの目標を明確にしております。

市長におかれましては、本ビジョンにお示したように、水道施設の更新や維持管理を適切に行い、効率的で安定した事業経営を確保され、いつまでも安全でおいしい水を市民に届けいただきますよう要望し、別添「第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕(案)」をもって答申といたします。